

国立大学は2004年に国立大学法人となり、以来、6年を一つの期間として改革を進めてきました。第1期は2004年から、第2期は2010年から、第3期は2016年4月から始まっています。この6年間の計画、また、2025年問題に向けての10年先を見据えた計画を、この「岐阜大学の将来ビジョン(森脇ビジョン)」に示しております。

岐阜大学の将来ビジョン(森脇ビジョン)に示した5つの様々な戦略(教育、研究、社会貢献、国際化、大学病院)での取組について、学外の有識者の方々と対談いたしました。

岐阜大学 学長 森脇 久隆

従来の就職のあり方が変化の中で、インターンシップによる教育は大きな意義がある。

セイノーホールディングス株式会社  
代表取締役社長 田口 義隆氏

× 岐阜大学 学長 森脇 久隆 ..... 4

IT化の波に乗り事業拡大を続ける一方で、要職を歴任。戦争での悲惨な体験から、何事も断らない姿勢を貫く。

株式会社インフォファーム  
取締役会長 辻 正氏

× 岐阜大学 学長 森脇 久隆 ..... 8

外国人観光客も増加し、盛り上がりを見せる飛騨地域。一方で、長良川周辺をいかに活性化していくかが課題。

岐阜県観光連盟  
会長 岸野 吉晃氏

× 岐阜大学 学長 森脇 久隆 ..... 12

若い人には、憧れとロマンを持ってほしい。そこに近づく努力が成長への力になる。

2008年ノーベル物理学賞 受賞  
益川 敏英氏

× 岐阜大学 学長 森脇 久隆 ..... 16

特別対談

岐阜大学

【表紙左下のイメージ図について】  
これは岐阜大学の将来ビジョン(森脇ビジョン)をモデル化してイメージ図にし、地域の中核たる岐阜大学が、人・物・情報を地域社会にもたらし、さらに国際社会とも呼応しつつ、相互に発展していく様子を表したものです。

# 岐阜大学の将来ビジョン(森脇ビジョン)

【2025年に向けて】

「地域活性化の中核拠点であると同時に、強み・特色を有する分野において全国的・国際的な教育・研究拠点的形成」を目指します。

